



## はじめに

近年、わたしたちを取り巻く社会状況は、少子・高齢化の急速な進行、情報化社会の進展、地方分権の推進など大きく変化しています。また、市民の求める幸せや豊かさが多様化しているとともに、身近なサービスの必要性はますます高まっており、行政だけでは市民一人ひとりが満足できる公共サービスを提供することは難しくなってきました。

一方、市内では、防犯パトロールやごみの減量等、身近な課題に取り組む地域活動が熱心に行われています。さらに、青少年問題、外国人と共に暮らす地域づくり等、新しい社会課題にNPO等市民活動団体が活躍する場面も増えてきています。

こうした中、第4次総合計画では、基本理念を「協働で創るしあわせ社会」と定め、豊明市を構成するあらゆる人や組織と行政が力をあわせてまちづくりに取り組むことを盛り込みました。

本書は、この基本理念のもと策定した「みんなでまちづくりをすすめるためのみちしるべ」に基づき、市民と行政との協働のまちづくりを実現できるよう、地域づくり活動や市民活動を推進するため支援策及び協働の具体的な取組みを定めたものです。